

真円度測定機

機器の概要

機械部品の軸や穴形状について、接触式検出器により円周方向・軸方向の半径の変化を高精度に測定する装置です。部品毎に高度な測定・評価が必要とされる航空機部品に対応可能です。

主な仕様

- ・コラム駆動範囲：500mm
- ・アーム駆動範囲：200mm
- ・回転テーブル直径：300mm
- ・スピンドル半径方向精度：0.06 μ m
- ・ゲージ分解能：1.2nm(±0.08mmレンジ)
- ・自動心出し／水平出し機能、プログラム測定機能
- ・対応規格
真円度測定機：JIS B 7451



メーカー：テーラーホブソン
型式：タリロンド385

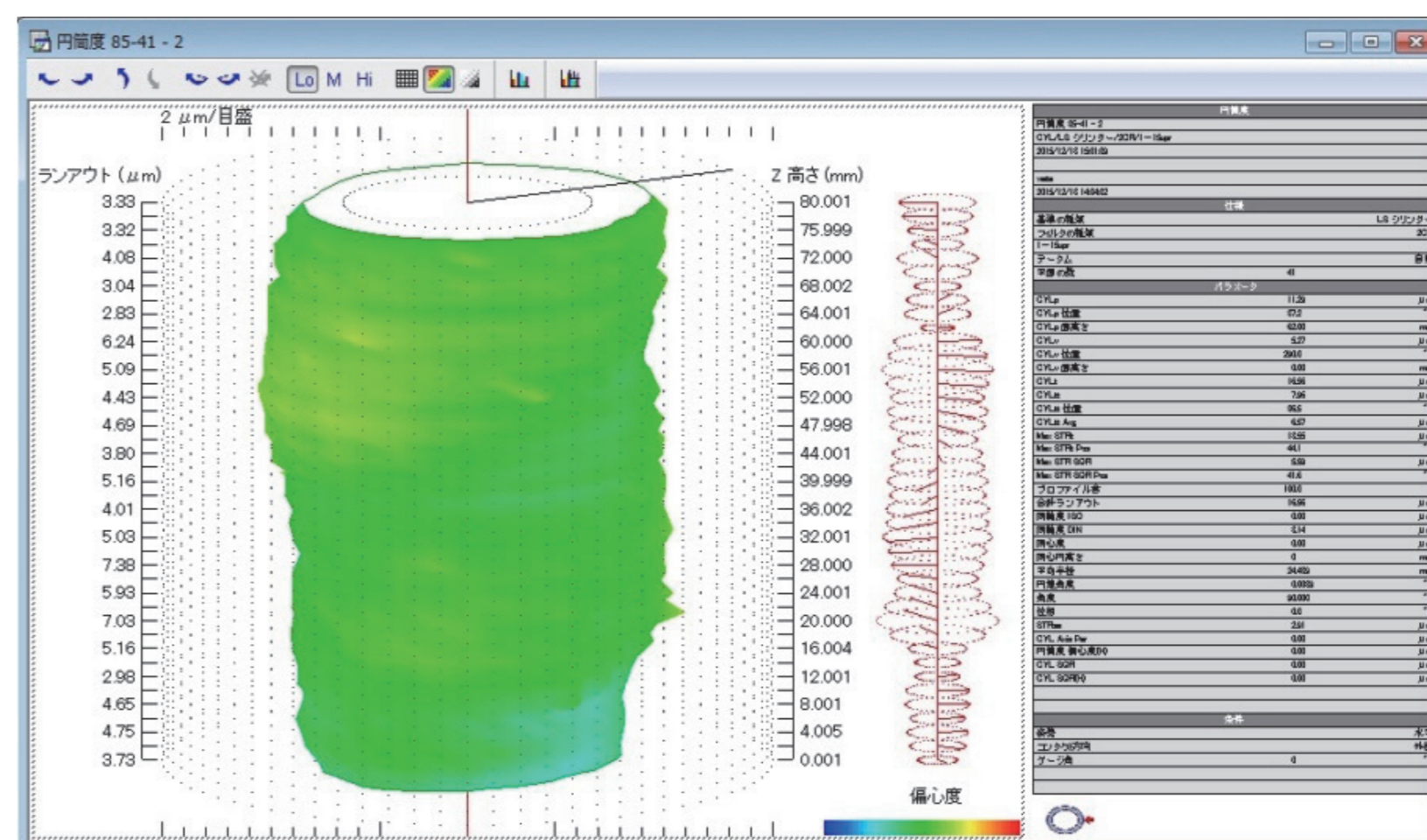
活用事例

- ・小型～中型シリンダー、シャフト等円筒部品の真円度、円筒度、真直度評価
- ・油圧・空圧精密制御バルブ等の円筒度、同軸度評価
- ・ベアリング部品の真円度、うねり形状評価

<測定例>

旋盤加工した軸部品の円筒度測定

- ・80mmの高さ範囲を2mm間隔で40断面を測定した結果です。測定は自動で行われ、測定時間は約30分。解析結果には、円筒度のほか各断面の振れ、偏心、偏心方向及び各種パラメータが一括で表示されます。



— 発信します 明日を拓く 確かな技術 —



栃木県産業技術センター

Industrial Technology Center of Tochigi Prefecture

